

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 26日

事業所名 のぞみ園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	8	3		
	②	職員の配置数は適切である	2	14	4	職員募集に加え、業務仕分けとICTの導入	求人活動の拡大と導入したICTの効果的活用の見直しを定期的の実施していく
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	6	0	通園する子ども達の発達特性等を踏まえながらその都度見直しを実施している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	6	0	建物内の消毒・清掃を毎朝・夕に実施。加えて使用したおもちゃの消毒を毎日実施している	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	11	0	委員会（衛生・リスク・防災等）会議を毎月開催し、国内の業務改善に向けた話し合いと実施後の評価を行っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	7	0	年度ごとの事業計画は、保護者・職員からの評価アンケートの結果やご意見も踏まえて作成している	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	11	0	結果の配布と事業所内掲示、ホームページ掲載等を通して公開している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	16	4	0	年2回第3者委員へサービス評価の結果報告や苦情受付の状況報告を実施し、ご意見をいただいている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	18	2	0	研修委員会による研修企画運営と外部専門家参画による事例検討会等を年間を通して実施している	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15	5	0		2023年度よりICTを導入。今後システム内のアセスメントツールの活用を検討
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12	5	3		2023年度よりICTを導入。今後システム内のアセスメントツールの活用を検討
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	4	0		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	11	0		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	10	0	日々の振り返り後に次の日の活動プログラムをクラスごとに検討している	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	10	0		
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	15	5	0	それぞれの成長段階に応じてグループ分けをしながら個別と集団の活動ができるようにしている	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	9	0	日々の振り返り後に次の日の活動プログラム、役割分担等をクラスごとに検討している	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	6	0	支援終了後は、各クラス毎にその日の振り返りを実施している	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	6	0		
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	15	5	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	7	0	児発管もしくは、クラスの担当者が必ず参加するようにしている	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	6	0	療育へのつなぎや家庭支援が必要なケースにおける連携など必要に応じて関係機関と連携をとっている	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	12	8	0		
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	13	7	0	利用開始前の担当者会等で情報共有を行ったり、必要があれば受診同行して主治医等と連携しやすい体制づくりを行っている	
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	8	0	担当者会や保育所等訪問支援事業等を通して並行通園先と情報共有や支援の方向性について共有できるようにしている	2023年度より特定の保育所のみだが、リモートによる情報交換を実施した。今後もその取り組みを広げていきたい
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	7	0		2023年度より特定の保育所のみだが、リモートによる情報交換を実施した。今後もその取り組みを広げていきたい
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	7	0	鹿児島大学の心理の先生方と事例検討や職員研修を年間を通して実施する中で助言等をしていただく機会を作っている。自立支援協議会の子ども部会主催の事例検討会にも毎回参加している	

事業所における アンケート集計結果 公表用
(児童発達支援)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障害のない子どもと活動する機会がある	11	9	0		感染症の影響もあり、交流については控えている が今後は実施に向けて検討していきたい
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の 子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	8	0	参加が一部の職員だ けに偏ることがないよう に、派遣調整を行う中 で、地域支援や地域課 題を感じる機会作りを 行っている	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	14	6	0	玄関での保護者への 声掛け等において必ず 担当職員を配置してコ ミュニケーションが取り やすい環境作りを行っ ている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ トレーニング等）の支援を行っている	9	11	0	今年度は外部専門家 による保護者向け研修 会を2回開催した	次年度以降、ペアレントプログラムの実施も検討し ていく
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明 を行っている	15	5	0	契約時に説明を実施。 報酬改定等において利 用料の変更がある場合 は、その都度説明会と 同意書どりを行ってい る	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、 これに基づき作成された「児童発達支援計画」 を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ている	15	5	0		
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対 する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	14	6	0		
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	13	6	1	定期的に開催される保 護者会役員会に職員 の担当者も参加して、 保護者交流等につな がる取り組み等を支援 している	
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	15	4	1		
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に 対して発信している	14	6	0	定期的にクラス便りと 園便りを編集発行して いる	
38	個人情報の取扱いに十分注意している	17	3	0	入職時のオリエンテー ションと年1回の職員研 修会において個人情報 の取り扱いや守秘義務 について研修を行って いる	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	15	5	0		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	10	10	0		

保
護
者
へ
の
説
明
責
任
等

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	17	2	1	各委員会(衛生・リスク・防災等)会議の中で図時マニュアルの見直しを行い、議事録と一緒に回覧で周知しながら訓練時に活用するようにしている	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15	5	0	年間計画を作成し、様々な災害を想定した訓練を実施している	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	5	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	19	1	0	必ず指示書の提出をお願いし、その内容に基づいた対応を行っている	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	19	1	0	事業所内でタイムリーに検討・対策の実施ができるようにマニュアルに基づく対応を行っている。また、リスク委員会で毎月確認するようにしている	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	19	1	0	毎月の委員会で虐待事案がないかの確認をすると同時に、対応事例の書籍も整備し必要時は確認しながら対応できるようにしている	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	6	2	身体拘束が必要な事例が発生した場合に適切な手順で対応できるように指針とマニュアルを整備している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。